

■東員町は、町の中心部に、中部公園、役場、JFLサッカーチームがホームスタジアムとして活用する陸上競技場などの公的施設とローカル鉄道駅が集約し「まちの顔」として交流やにぎわいを創造する地域づくりを進めています。また南部には大型ショッピングセンターがあり多世代の買い物拠点として生活を支えています。この背景からオレンジバスの「まちの顔」エリアと大型ショッピングセンターへのアクセス向上を視点にルートとダイヤの再編を行い、利便性を向上し利用者の増加を目指します。

事業の内容

1 ルートダイヤの再編

- ①東部線（昼便）を「まちの顔」エリアに延伸
- ②南北線の便数の少なかった西部エリアの便数を拡大し、「まちの顔」エリアや買い物を中心に「行って、帰ってこれる」ダイヤの設定
- ③町の人口の半分が居住する北部団地から「まちの顔」エリアへシームレスなアクセス
- ④町の中心を横断する北勢線駅への接続向上

2 再編と併せて行う地域公共交通利用の円滑化事業

QRコードを活用したバスの位置情報の発信、キャッシュレス決済の導入

「まちの顔」
エリア



中部公園



役場



競技場



東員駅

事業の効果

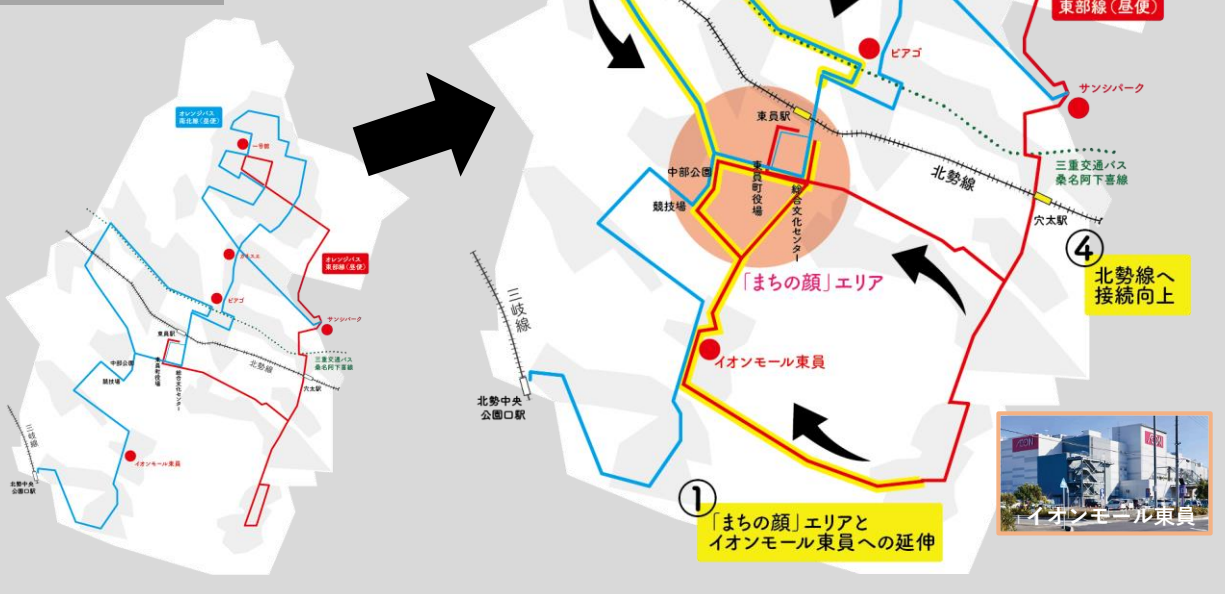
・町の中心部の主要施設へのアクセス性の向上

区間	再編前	再編後
オレンジバス（東部線） 穴太駅～ 歌舞伎公園・イオンモール	約36分 （乗換1回）	約10分 （乗換なし）
オレンジバス（南北線） 笹尾西一丁目北～ 歌舞伎公園・イオンモール	約65分 （乗換1回）	約58分 （乗換なし）
オレンジバス（南北線） 稲部系統	4便/日	8便/日

・電車からバスへの乗継ぎ時間の短縮

区間	再編前	再編後
穴太駅でのオレンジバス への乗継	最大約28分待ち	最大約17分待ち

計画路線図



イオンモール東員